

会員報告

食博

坂上 正司

4年に一度インテックス大阪で催される「食博覧会・大阪」に行ってきました。食博覧会は、1985年から4年ごとに開催される日本最大級の「食」のイベントで、今年は4月28日から5月7日までの10日間、「日本の祭り・日本の味くらべ」というテーマで開催されました。



インテックス大阪へは大阪市営地下鉄中央線「コスモスクエア」駅からエレベータを3回乗り継いで徒歩15分でたどり着きます。「コスモスクエア」駅で南港ポートタウン線に乗り換えて「中ふ頭」駅からエレベータを1回、やや勾配のきついガタガタのスロープを使用して徒歩5分という行き方もあります。

参加するのは今回で3回目になりますが、車いす利用者と介助者は入場料一人2,200円のところが一人1,000円になり、入場に際しても専用レーンから入れるので、バリアフリー展やほかの展示会のように並ばされないのが助かります。ちなみに年々参加者数が増加しているようで、今回は修学旅行生が大量に流入していました。比較的少ないのは期間中平日の月曜日、金曜日といったところのようです。過去2回は読み通り最少入場者数の日を選びました。

まずは、リーガロイヤルホテル。いつもなら定番の肉厚ローストビーフをわさびで食べさせてもらっていたんですが、今年は趣向が変わっていました。チョイスしたのはオマール海老フライ、

しかもソースはビスク。おいしくないわけがない。ホテルで食べることを思えば3分の一くらいの価格ですが、庶民感覚とはいええない1,200円。



その後、調理器具のコーナーで地元のNPOで経営しているレストラン厨房で使えそうなものを物色。ワインや種類をたっぷり試飲した後、いつものドイツビールコーナーへ。今年はルードヴィッヒ・ケーニッヒのダウンケル(黒)をチョイス。アテはもちろんハライコの白(ソーセージ)。

いろいろ試食をしてみますが、3回目になるとこれと言って珍しいものが酸くなってきました。中でもトルコアイスの店の多さには閉口しました。そこで、半分やけばちで北海道コーナーでイカめしコロッケなるものに挑戦してみました。イカの香りも歯ごたえもない・・・塑像通りの残念な味でした。喉が渴いてきたので、台湾氷を食してみました。俗に綿々氷と呼ばれる凍らせた練乳を削ったかき氷で、練乳の濃度が高いほどふわふわになり、頭にもツンとこず、溶けにくいのです。その日のものは70点というところでしょうか。本当においしいものは800円くらいします。

食博では食べるだけでは、飾り付けを楽しめるコーナーもあります。中国の野菜や果物の彫刻、和食の彩り、和洋菓子など見て楽しめます。

最後に、お袋へのお土産として定番の焼き鯖寿司と焼きよもぎ餅を買って会場を後にしました。